

開會友愛會刷子組合等諸君
辭三座キ講士十數名交々起ツテ講演ヲ爲シタルカ其
間漸次入場者増加シ約五百名ニ達シタルカ場内空席
多ク一面弁士ノ大部ハ論旨徹底セサル爲ニ努メ煩ル
ラサリレカ内重ナル者ノ講演要旨別紙ノ如ク全九時五
十分無事閉會セリ
右及申(通)報候也

友愛會境川支部長 宮内 綏 太郎
諸君彼ノ天王寺ノ茶白山ハ三百年前徳川ノ本陣アリ
彼カ教億ノ財ハ之レ吾々労働者ノ血ト汗ノ結晶ニシテ之ヲ
見テ何等ノ感ナキモノハ大馬鹿者ナリトテ住友千係ノ會社
重役社長等ノ收入支出等ノ全額ヲ讀ム上テ其贅沢ヲ
俵ヤルヲ痛罵シ斯ク吾人ノ勞力ハ彼等ノ財トナリ吾等
ハ帝ニ無一物ナク以テ公平ナルモノヲ制度ト云ヒ得ルヤ資
本家モ吾人モ共ニ全シキ人間ナリ諸君安キル勿レ吾人ニ
キニ双腕アリ一國ノ産業ヲ自由ニスルカハ將ニ樹立トシ
テ籠リ居レルヲ覺ラサルヘカラス云々

造船工労働組合 二平 井 元

冒頭ニ永田三太郎及三四郎ハ非常識ナル馬鹿者ナリト
罵倒シタル八日ノ夜神ノヨリ帰阪ノ途泉尾盤石寮
署ニ檢束セラレタル全志多敷カ全署留置場内ニテ政打
サレ居タル又斯レ事(目撃シテ同情シテ涙ヲ禁ズレ得サリキ余ハ
帝ニ官憲ノ横暴ヲ耳ニスルニ過日ハ其ノ實際ヲ目撃シ
其暴虐ニ一驚セリ諸君ヨ吾々ハ其横暴ナル官憲ニ